

# J R旅客会社の基準単価・基準コスト等について

J R旅客会社（J R旅客会社とは、北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社及び九州旅客鉄道株式会社の6社の総称です。）の基準単価・基準コスト等は、次のとおりです。

## 1. 基準単価

平成17年8月1日以降にJ R旅客会社が運賃改定の申請を行う場合の基準単価の算定は、次式により行います。

$$\text{基準単価 } y = ax_1 + bx_2 + c$$

(1) 線路費  $y =$  線路延長1キロ当たり基準単価  
 $a = 9,788.259$        $b = 0.513$        $c = -39,527.285$   
 $x_1 =$  車両密度 (対数)       $x_2 =$  雪量  
(線路費とは、線路や路盤の維持補修、作業管理に要する経費です。)

(2) 電路費  $y =$  電線延長1キロ当たり基準単価  
 $a = 6.634$        $b = 31.549$        $c = -391.367$   
 $x_1 =$  電車密度       $x_2 =$  電車線割合  
(電路費とは、電車線や信号設備等の維持補修、作業管理に要する経費です。)

(3) 車両費  $y =$  車両1両当たり基準単価  
 $a = 61.770$        $b = 0.440$        $c = -2,612.162$   
 $x_1 =$  1両当たり車両走行キロ       $x_2 =$  雪量  
(車両費とは、車両の整備補修、作業管理に要する経費です。)

(4) 列車運転費  $y =$  営業キロ当たり基準単価  
 $a = 20.480$        $b = 3,951.764$        $c = -5,981.240$   
 $x_1 =$  1列車1キロ当たり乗車人員       $x_2 =$  列車密度 (対数)  
(列車運転費とは、列車の運転や作業管理に要する経費です。なお、動力費は含まれていません。)

(5) 駅務費  $y =$  1駅当たり基準単価  
 $a = 44.358$        $b = 59,176.435$        $c = -209,493.985$   
 $x_1 =$  1駅当たり乗車人員       $x_2 =$  平均乗車距離 (対数)  
(駅務費とは、駅の維持や乗車券の発行等に要する経費です。)

## 2. JR旅客会社の平成16年度の基準単価、基準コスト、実績コスト等の状況

平成16年度の基礎データに基づき算定した基準単価、平成16年度の施設量及び基準単価に施設量を乗じて算定された基準コストの合計額並びにそれに対応する実績コストの合計額は、以下のとおりです。

なお、基準コストは、鉄軌道業の各種経費のうち、各社共通で比較可能な線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費の5費目（ヤードステイック対象経費という。）についてその基準となるコストを示すものであり、輸送サービスの質や事業全体の評価を行うものではありません。

ちなみに、旅客鉄道会社の鉄軌道業の営業費用に占めるヤードステイック対象経費の割合は6社平均で、44%です。

### (1) 基礎データ

	線路費		電路費		車両費		列車運転費		駅務費	
	x1	x2	x1	x2	x1	x2	x1	x2	x1	x2
北海道	3.890	10,621	52.889	21.525	128.747	10,621	120.705	2.689	262.197	4.029
東日本	5.158	2,497	152.071	31.143	167.234	2,497	486.140	3.532	3,450.441	3.187
東海	5.696	439	276.834	25.127	296.934	439	523.490	3.889	1,229.825	5.175
西日本	5.035	887	128.146	32.668	188.784	887	264.841	3.683	1,470.521	3.779
四国	4.263	4	77.810	23.163	141.181	4	73.990	3.184	191.721	3.831
九州	4.643	7	89.593	27.829	159.903	7	123.142	3.439	530.684	3.728

### (2) 基準単価

基準単価は、(1)の基礎データを基準単価算定の式に代入して求めます。

(単位：千円)

	線路費	電路費	車両費	列車運転費	駅務費
北海道	3,998	639	10,014	7,117	40,558
東日本	12,242	1,600	8,817	17,933	132,156
東海	16,452	2,238	15,923	20,108	151,297
西日本	10,212	1,489	9,439	13,997	79,363
四国	2,202	856	6,110	8,116	25,715
九州	5,923	1,081	7,268	10,131	34,656

### (3) 施設量

	線路延長 (キロ)	電線延長 (キロ)	車両数 (両)	営業キロ (キロ)	駅数 (駅)
北海道	3,106.2	5,304.1	1,180	2,499.8	472
東日本	12,698.5	45,043.5	13,197	7,526.8	1,699
東海	3,326.8	13,730.4	3,334	1,974.4	406
西日本	8,065.2	27,737.0	6,567	4,990.6	1,216
四国	898.4	1,754.5	452	855.2	258
九州	2,663.2	9,566.8	1,730	2,121.8	554

### (4) 基準コスト合計額

及び実績コスト合計額

	基準コスト (百万円)	実績コスト (百万円)
北海道	64,559	59,867
東日本	703,394	744,742
東海	239,676	230,077
西日本	352,007	363,877
四国	19,817	19,410
九州	79,385	70,736

(注) 「基準コスト合計額」は、線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費のそれぞれについて(2)基準単価に(3)施設量を乗じて算定した基準となるコストの合計であり、実績コスト合計はそれに対応する実績の支出額です。